

事務事業調書
平成27年度

事業No	497	課	土木課	係	河川係	起案者	鈴木豊明
						決裁者	杉浦亙
事務事業名		橋りょう新設改良事業			事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 1 道路 1 道路整備 4 橋りょう				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		40-10-30			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分	市の内部事務事業				
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託	委託先		民間企業						
実施期間	開 始	平成元年度		経 過	26年目		終 了		期 間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民が			~になる		安全、快適に河川を横断できるようになる。		
事務事業の内容	河川改良事業に同調し、橋りょうの改築・拡幅を行います。									
改善・対策の履歴	【平成24年度】 ・岩根上橋の上部工について調整した結果、迅速施工が可能な合成床版を採用することで、工期を短縮をすることができました。 ・旧橋・仮橋撤去工について調整した結果、県が護岸工と一括して発注することで、工期を短縮をすることができました。 ・西海橋の詳細設計について、河川管理者や他の占有者との協議を綿密に行い、円滑な施工ができるよう計画しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	89,364	46,120	358,065	191,978	212,159
財源計	86,466	42,277	352,584	186,497	206,237
財源の内訳	国庫支出金	0	68,225	38,115	30,635
	県支出金	4,390	47,884	9,585	20,220
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	37,828	60,000
	一般財源	82,076	236,475	100,969	95,382
受益者負担金	0	0	0	0	60,000
職員人件費 (従事職員数)	2,898 (0.46)	3,843 (0.61)	5,481 (0.87)	5,481 (0.87)	5,922 (0.94)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	橋りょう改築工事（付帯工含む）	見込	1.00	1.00	2.00	2.00
			実績	1.00	1.00	2.00	
	指標名 (単位)	橋数及び地区数（橋及び地区）	活動の総事業費（千円）	18,356	5,473	24,381	
			活動にかかるコスト（千円）	18,356.00	5,473.00	12,190.50	
活動2	活動名 (活動内容)	河川管理者協議	見込	2.00	6.00	4.00	4.00
			実績	3.00	6.00	4.00	
	指標名 (単位)	件数（件）	活動の総事業費（千円）	630	630	756	
			活動にかかるコスト（千円）	210.00	105.00	189.00	
活動3	活動名 (活動内容)	費用負担金協定締結	見込	2.00	6.00	4.00	4.00
			実績	3.00	6.00	4.00	
	指標名 (単位)	件数（件）	活動の総事業費（千円）	70,378	28,209	62,610	
			活動にかかるコスト（千円）	23,459.33	4,701.50	15,652.50	

4 成果指標と実績の推移			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名（単位）		目標	0.00	1.00	0.00	0.00
	改築が完了する橋りょう数（橋）		実績	0.00	1.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
		0.00					
成果2	指標名（単位）		目標	1.00	1.00	2.00	1.00
	橋りょう改築に伴う取付道路等の付け替え工事（地区）		実績	1.00	1.00	2.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況	達成	達成	達成	
		0.00					

5 成果1、2以外の成果	
成果	・鹿乗川、半場川：河川改修事業と同調して、橋りょうを改築することで、橋りょう改築費用の負担を河川管理者（愛知県）と、道路管理者（安城市）が按分でき、コストの縮減が図られました。 ・鹿乗川：国会議員を始め関係機関の職員等を招待し、床上特別事業の完成を祝う会を地元町内会と開催したことにより、ポスト床上事業の更なる国からの補助金等の支援をお願いするアピールができました。 ・西海橋：プレロード工法による盛土材料を他工事の発生土を使用したことにより、施工に関する費用を大幅に削減できました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・協議、協定締結業務は、件数の減少に対し施工に係る金額が増大したことにより、コストは増加となりました。
成果	・橋りょう改築にあたり、河川管理者（愛知県）と密な打合せ、協議を行ったことで、遅滞なく協定を締結することができ、円滑な事務処理ができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・橋りょうの工事は、長期にわたるため市民生活に多大な影響を与えるので、発注方法を検討し工期を少しでも短くする必要があります。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・河川の流下能力の向上や安全に河川を横断するためにも、必要な事業です。今後も、河川改修と同調することで、市費の歳出を抑制します。